

施策を貫く視点

ありたい姿の実現には、グローバル化やデジタル化など、物事の変化が激しい時代であることを踏まえ、施策横断的に取り組む必要があります。このため、全ての施策を貫く視点として以下の4つを掲げて取り組むとともに、施策相互の連関を強め、相乗効果を創出します。

どんな取り組み方があがる？



長崎県デジタルの変

本県の、離島・半島が多い地理的特性や、人口減少・少子高齢化に伴う様々な地域課題に応じたデジタル化・DXの推進をはじめ、最先端技術を効果的に活用し、県内外からイノベーションを生む多様な人材・知・産業の集積を促し、稼ぐ地域を創りだすとともに、人手不足の解消や地理的・時間的な条件に関わらずあらゆる地域で同じような働き方を可能とする環境を整えます。

また、医療、福祉、子育て支援等の県民の生活に密着した分野のデジタル化を進め、個人のニーズに応じた最適なサービスが提供される豊かな県民の暮らしを目指します。教育分野においても、デジタル技術について適切に理解し自ら活用できる力の向上を図るとともに、誰一人取り残されず、一人ひとりに個別最適化され創造性を育める教育ICT環境を実現し、次世代の学校・教育現場の確立を目指します。

行政においては、デジタル技術の活用により行政運営を効率化し、限られた経営資源を行政サービス提供に振り向けるとともに、デジタルマーケティングの手法を最大限に活用し、効果を検証できる質の高い行政サービスの提供を実現します。

長崎県版デジタル社会実現に向け、デジタル化を加速させ、県民生活の利便性向上と産業の活性化、行政運営の効率化を推進するため、“長崎県デジタルの変”に取り組みます。

県民サービスの向上・産業への活用

- 行政手続オンライン化の推進
- マイナンバーカードの普及・活用促進
- オープンデータの利活用促進
- デジタルマーケティングの推進
- AI等先端技術を活用した各産業分野における新サービス創出の促進
- 次世代モビリティやドローンの社会実装の促進
- 教育分野におけるデジタル活用とデジタルリテラシー向上
- 誰もがデジタルの恩恵を受けられる環境整備の推進

行政運営の効率化

- テレワーク等による多様で柔軟な働き方の推進
- AI・RPA等の新たな技術を活用した業務効率化の推進
- コミュニケーションツールを活用した情報共有等による向上の推進
- 行政におけるデジタル人材の育成

戦略的情報発信、ブランディング

国内のみならず世界に存在感を示す選ばれる「新しい長崎県」の実現に向け、分野横断的視点・マーケティングに基づく戦略的な情報発信に取り組むとともに、自然・歴史・文化・環境などの本県の多様な魅力へ光を当てながら、本県の総体的なイメージ向上につながるブランディングを図り、県民の皆様の自信と誇りにつなげます。

情報発信においては、推進組織として全庁的な情報発信体制を整備し、情報収集や情報発信のための素材づくりを行います。そのうえで、県の持つデジタル・アナログ双方の広報媒体を含め、最適な広報媒体を選択し発信を行うことで、民間や関係者の皆様と連携して、伝えるべき方々に、伝えるべき情報を分かりやすくかつ確実に届け、県内外の皆様方の行動変容につなげます。

ブランディングにおいては、これまで蓄積してきた本県の魅力や新たに創出する魅力に光を当てながら、情報発信と連動し、民間や関係者の皆様と連携して、他県と差別化された選ばれる「新しい長崎県」の要素を訴求することにより、新しい「長崎ブランド」を構築していきます。



人材確保・育成

未来を担う子どもを社会全体で育むとともに、あらゆる分野で活躍できる教育環境の充実に取り組みます。

また、一人ひとりの能力と可能性を最大限に高め、社会情勢の変化に的確に対応しながら、柔軟な発想で地域課題を解決することに加え、新しい価値の創造ができる人材の確保と育成を図り、地域活力の維持・活性化につなげていきます。



ダイバーシティの推進

秩序ある社会の中で、性別や年齢、国籍、障害の有無などに関わらず、一人ひとりが持つ多様な価値観や個性が尊重され、誰もが自分らしく暮らすことができる環境の充実に取り組みます。

また、多様な人材の持つ能力や特性などが発揮され、誰もが自分の目標に向けた挑戦や、安心して活躍ができる社会の仕組みを構築していきます。

